



利賀の水音



vol.46

2026. 3
発 刊

祝貫通

利賀トンネル(仮称)L=4,963m

1工区:L=1,398m	2工区:L=2,365m
 清水建設株式会社	 大成建設株式会社

発注者:国土交通省 北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所

目次

1. 目次・はじめに	P.1
2. 祝！！利賀トンネル（仮称）貫通！	P.2
3. 地域活性化・利賀ダム利活用アンケート	P.4
4. 安全対策協議会の活動	P.8
5. 工事日より	P.9
6. トピックス	P.24
7. あとがき	P.26

表紙写真（上）利賀トンネル2工区（押場側）より見た、掘削機を用いた貫通作業の様子
表紙写真（下）利賀トンネル1工区（長崎側）にて貫通を祝う様子。左上の穴が貫通箇所

1. はじめに



昨年4月に利賀ダム工事事務所へ着任してから、あっという間に1年が経過しました。この間、現場の状況はめまぐるしく変化し、各工区で活気が満ちております。なかでも、地域の皆さんが待ち望んでいた、今年2月3日の南砺市利賀村・長崎～押場間約4.9キロを結ぶ「利賀トンネル（仮称）」の貫通は大きく報道され、地元の関心の高さを改めて実感しました。

この利賀トンネル（仮称）は、令和2年8月7日、利賀ダム建設促進期成同盟会・綿貫会長をはじめ、地元国会議員、流域自治体の首長、県議会議員の皆様のご参列のもと盛大に着工式が行われました。それから約5年半という長い年月を経て、ようやく貫通の日を迎えることができました。

工事では、地山分類の変更に伴う支保工パターンの見直し、令和6年5月に発生した水道水源の水量減少への対応、さらに令和7年2月の赤松谷での大規模な雪崩など、多くの試練に直面しました。また、ルート検討をはじめとする計画段階でも大変な苦労があったと先輩方から伺っております。

今後、このトンネルは地域振興に大きく貢献し、安全な通行を可能とする国道471号バイパスの早期供用が期待されています。ただご存じのとおり、このトンネルには利賀ダム工事用道路と国道471号バイパスという二つの役割があります。まずは利賀ダム建設事業を効率的に進めるための工事用道路として使用し、その後、安全施設を整備したうえで道路管理者である富山県により供用される予定です。早期供用を実現できるよう、富山県と連携しながら取り組んでまいります。

今年、ダム堤体コンクリート打設や貯水池法面对策工事の本格施工が始まります。ダムサイトではコンクリート製造設備や骨材製造設備、ケーブルクレーンが稼働し、押場地区の貯水池法面对策工事では抑止杭や排水トンネルを施工するための大規模な栈橋など、見応えのある現場が数多くあります。今後は、インフラツーリズムの導入についても検討を進めていく予定です。

最後に、近年は気候変動の影響により、大雨、渇水、大雪、地震など自然災害の激甚化・頻発化が顕著になっています。これまで経験したことのない災害から地域を守るため、事前防災対策の推進が急務です。利賀ダムは洪水調節、流水機能の維持、工業用水の確保などの機能を備えており、庄川流域の安全・安心の確保、そして富山県の発展に寄与できるよう、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



利賀ダム安全対策協議会会長 浮田 博文

2. 祝！！利賀トンネル（仮称）貫通！！

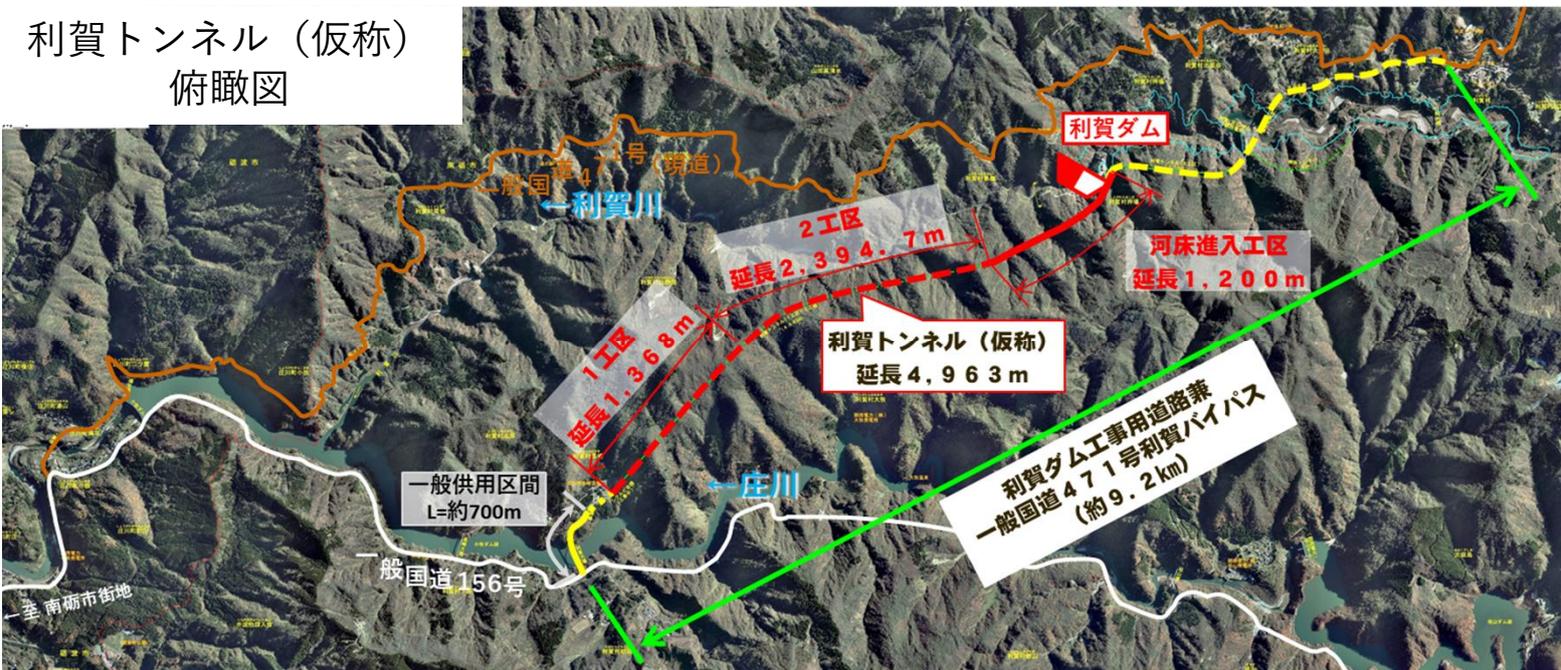


令和8年2月3日（火）に利賀トンネル（仮称）1工区2工区間にて利賀トンネル（仮称）が貫通しました。利賀トンネル（仮称）（L=4,963m）は利賀ダム建設用道路として、後に国道471号バイパスとして活用するものとして建設を進めているものです。清水建設株式会社施工の1工区（L=1,368m、令和7年2月施工分界点到達）、大成建設株式会社施工の2工区（L=2,394.7m、令和8年2月施工分界点到達）及び河床進入工区（L=1,200m、令和5年3月完成）の3分割で発注され、利賀トンネル3工区（平成25年11月完成）とあわせて利賀村長崎から押場までが1つに繋がったこととなります。

当日は1工区と2工区のそれぞれに関係者が赴き、うち1工区においては関係者出席のもと、貫通掘削見学会を催しました。

なお、利賀トンネル（仮称）は当面工事専用道路として使用され、一般車両の通行はできません。将来的に安全設備を整えた後に、一般車両が通行可能となる予定です。

利賀トンネル（仮称） 俯瞰図



お清めの様子



関係者による万歳三唱



関係者全員での記念撮影

～ 1 工区代表者挨拶～

富山県は清水建設の創業の地であり、このゆかりある地域で利賀ダムという重要で大規模な事業に携われたことに、深い縁と大きな責任を感じています。本日、利賀トンネルの貫通を無事迎えることができ、関係者や地域の皆様のご理解とご支援に改めて感謝しております。

令和5年9月に坑口付けを行い掘削を開始して以来、途中では大量湧水の発生や不良地山への遭遇など、困難な状況もありました。しかし、若い技術者や昼夜問わず施工に尽力した協力会社の皆様が一丸となり、現場を着実に前進させたことで、実質17か月という比較的順調な工程で貫通点に到達しました。利賀トンネルは工事用道路としてだけでなく、ダム完成後には地域の生活を支える重要なインフラとなるものです。今回の貫通は大きな節目ですが通過点でもあります。今後も安全管理を徹底し、高品質な構造物の提供に努めてまいります。本日はありがとうございました。



清水建設株式会社 現場代理人

～ 2 工区代表者挨拶～

本日はおめでとうございます。約5kmの長大トンネルの貫通に関係者の皆様と共有でき、職員一同ならびに協力企業の皆様とともに大変喜んでおります。

利賀トンネルでは突発湧水や切羽崩落が幾度も発生しましたが、その都度、工事事務所の皆様から迅速かつ的確な指示を頂き、工事を前進させることができました。残る舗装工事・設備工事についても、安全第一で無事故・無災害を貫きます。本トンネルが利賀ダム事業の早期完成や地域の利便性向上に寄与することを祈念し、挨拶いたします。



大成建設株式会社 北信越支社 土木部長

～発注者代表挨拶～

皆さん、本日は誠にご苦勞様です。利賀ダム所長の浮田です。第一工区（清水建設）、第二工区（大成建設）のトンネル貫通にあたり、心より御礼申し上げます。

この貫通は地域の皆様の長年の願いでもあり、大きな喜びとなるものです。令和2年の着工式では期成同盟会の綿貫会長をはじめ、多くの地元関係者の皆様に祝っていただきました。それから5年半をかけ、約4.9kmの長大トンネルがついに貫通しました。この間には地山条件の変化や大量湧水、地域の上水道水量減少、雪崩による坑口被害など多くの試練がありましたが、現場の皆様のご尽力により本日を迎えることができました。国土交通省職員一同、心より感謝申し上げます。

今後は工事用道路として早期に活用し、事業を計画通り進め、最終的に国道471号バイパスとして地域の安全・利便に貢献する使命があります。

貫通後も困難があるかもしれませんが、関係者一丸となって立派なインフラを整備していきたいと思っております。どうか引き続き無理なく計画的に安全施工をお願いします。本日は本当にありがとうございました。



発注者代表 利賀ダム工事事務所長

**トンネル貫通の瞬間は国土交通省利賀ダム工事事務所
公式YouTube チャンネルでもご覧いただけます！**

<https://www.youtube.com/channel/UCSh6JqchktwZufKVq2WH0Jg>





砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、高岡市でパネル展を実施！
関係自治体住民の皆様にも利賀ダム建設事業をPR！！

利賀ダム建設促進期成同盟会パネル展

令和7年8月から令和8年1月にかけて、利賀ダム建設促進期成同盟会に所属する砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、高岡市の市役所にて利賀ダムパネル展を実施しました。

市役所の玄関ホールやロビーといった来庁者の目に留まりやすい場所をお借りし、利賀ダム事業を紹介したパネル展示や、利賀ダムのイメージキャラクター「トムはかせ」「サユりん」の顔出しパネル等を設置し、利賀ダム事業を広く知ってもらうことができました。

砺波市役所ロビー



小矢部市役所ロビー



南砺市役所玄関ホール



射水市役所ロビー



高岡市役所ロビー



展示期間

- 砺波市 : 令和7年 8月 4日から 8月15日
- 小矢部市 : 令和7年 9月16日から 9月26日
- 南砺市 : 令和7年10月 3日から10月17日
- 射水市 : 令和7年10月27日から11月 6日
- 高岡市 : 令和8年 1月13日から 1月23日

利賀ダムの利活用に関するアンケートも実施したよ！



サユりん

“新そばまつり in TOGA” に利賀ダム紹介ブースを出展！
 水源地域ビジョンにつなげるための利賀ダムの利活用アンケートを実施！！

新そばまつり in TOGA

令和7年10月25日(土)、26日(日)に利賀国際キャンプ場周辺にて開催された”新そば祭り in TOGA”にて、利賀ダム紹介ブースを出展しました。

利賀ダム事業を紹介したパネル展示や水源地域ビジョンにつなげるための利賀ダムの利活用アンケートブースを出展したほか、金沢大学の坂本先生や研究室に所属する学生の皆様にもご協力いただき、体験学習コーナー等を設けることで、幅広い年代のイベント参加者に利賀ダム事業を知ってもらうことができました。

利賀ダムイベントブース



パネル展示



利賀ダムの事業について

VRゴーグルダム体験



利賀ダムの完成後の姿をVRで体験

こども環境学習コーナー



金沢大学の学生さんも大活躍！

アンケートコーナー

多くの方に回答していただくため、金沢大学坂本先生ご提案のガチャガチャを景品にしてアンケートを行いました。



貫通石

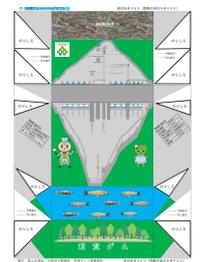
景品は貫通石や職員が作成したミニダムカード、ペーパークラフトを用意したよ！



トムはかせ



ミニダムカード



ペーパークラフト

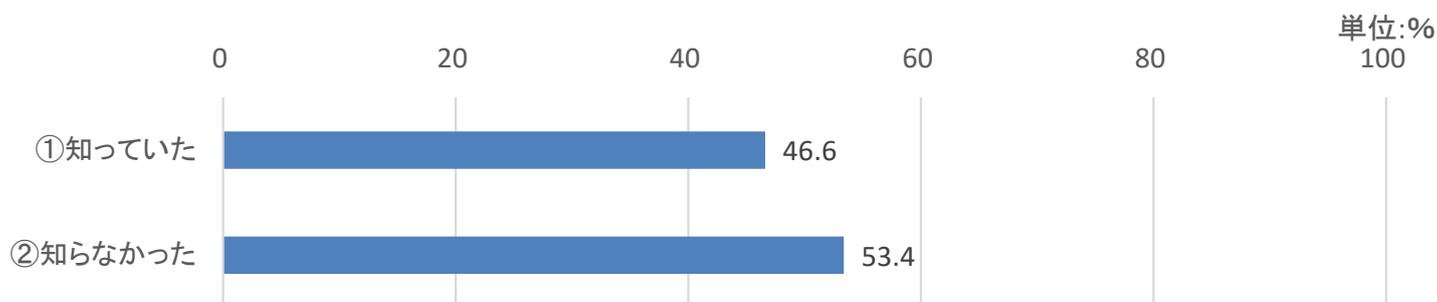
新そば祭り in TOGA 利活用アンケート（抜粋）



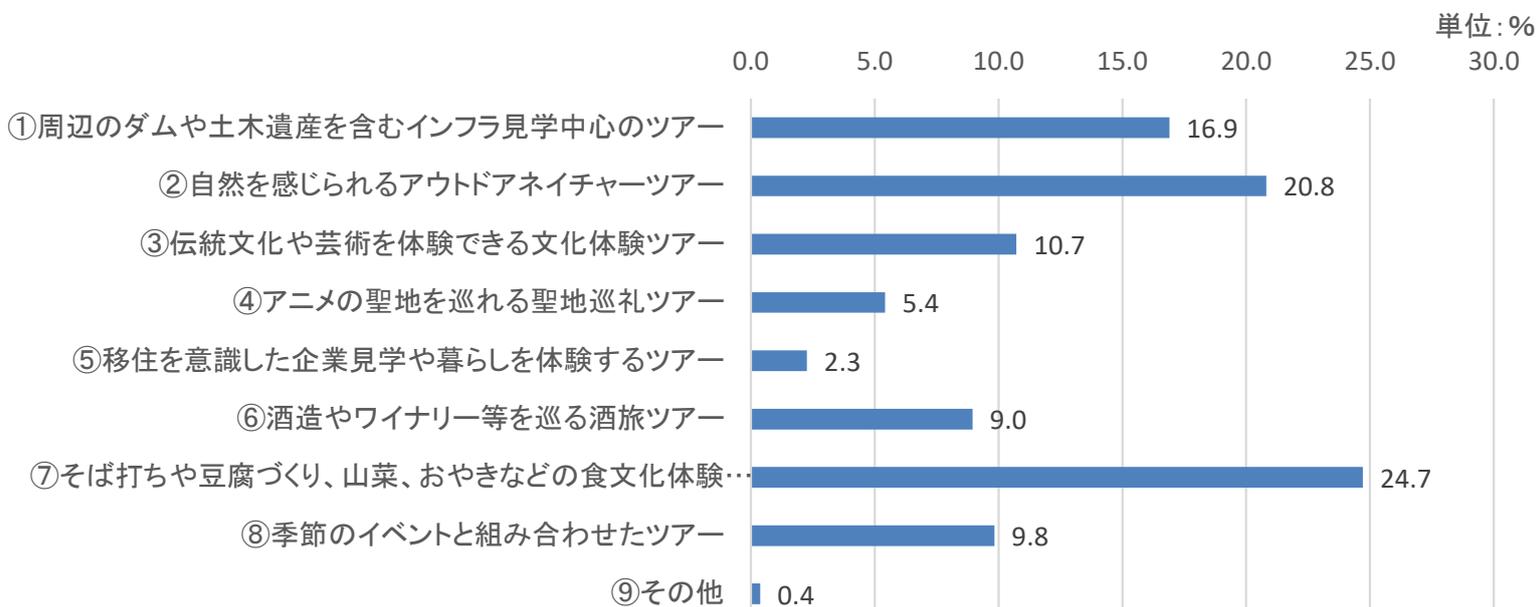
調査対象	新そば祭り in TOGA 参加者
調査時期	令和7年10月25日（土）、26日（日）
調査方法	Googleアンケートおよび現地配布・現地回収
回収数	Googleフォームを使用したオンライン形式：356部

利賀ダムの工事中や完成後の利活用についてのアンケート調査を実施しました

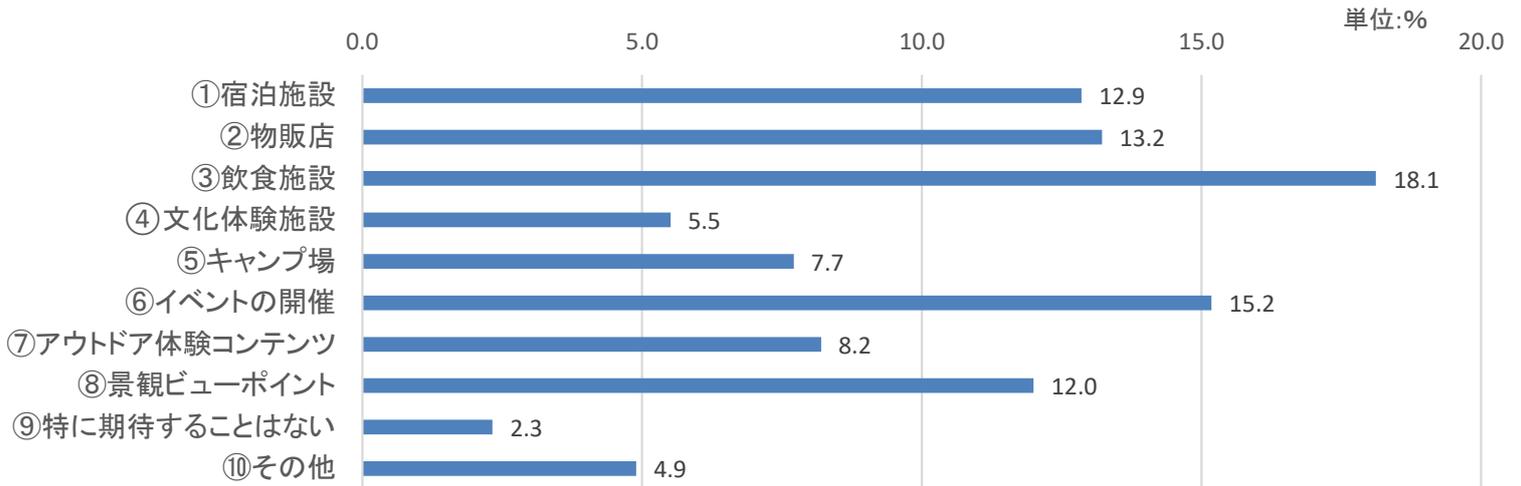
利賀ダム建設事業の認知度



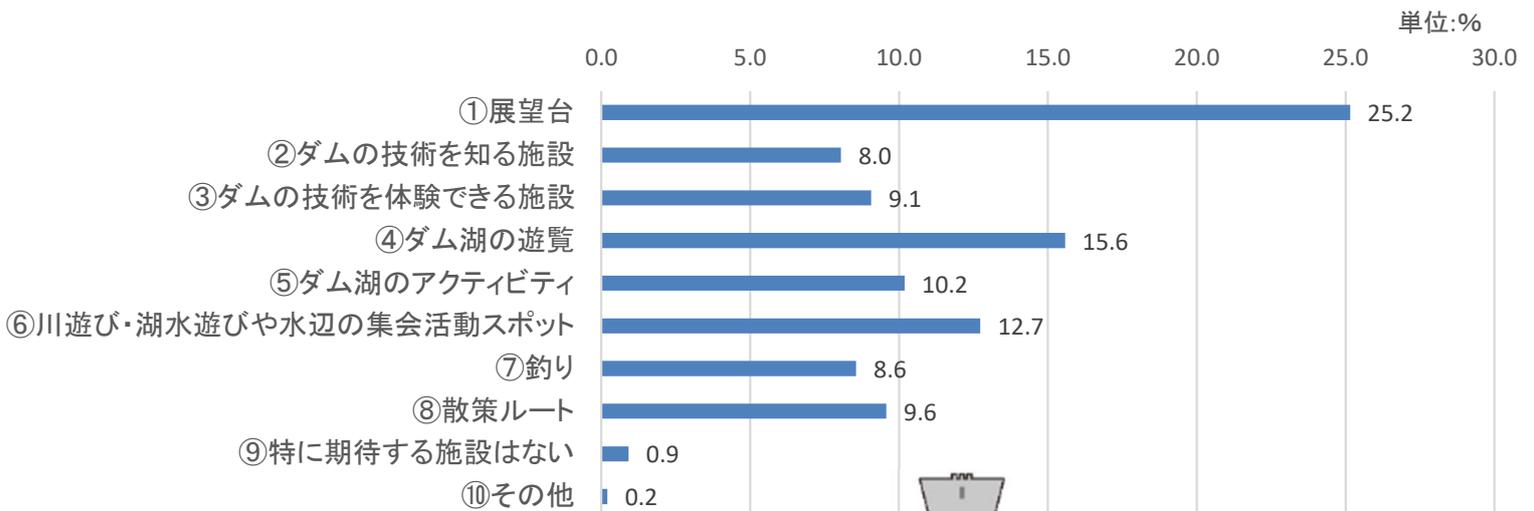
ダム工事見学に組み込まれればいいツアー



利賀地区に今後整備を期待する施設



ダム完成時に期待する利活用施設



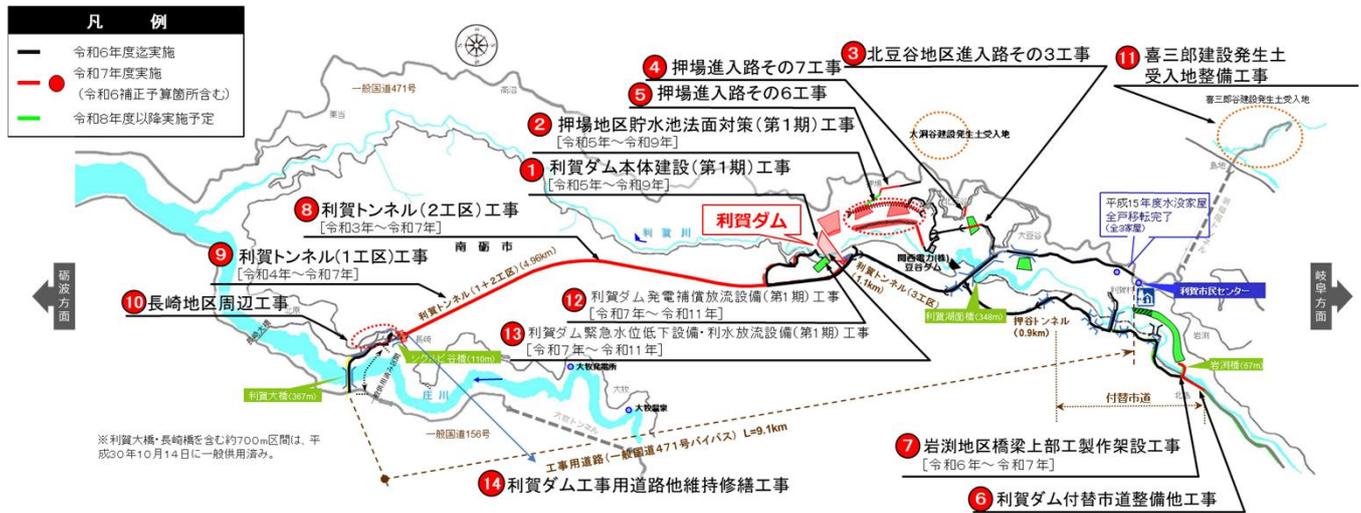
300件以上のアンケートが回収できました
アンケートにご回答いただいた皆様、ありがとうございました

4. 安全対策協議会の活動

安全対策協議会では、労働災害・事故等の未然防止を目的として、事務所職員および受注者、地質調査業務の関係者で月1回程度、管内の現場パトロールを実施しています。

今年度の安全パトロールは5回実施しました。指摘・推奨事項を意見交換で発表し工事関係者全員が情報共有しています。また、指摘事項については早急に改善を図っています。

令和7年度 工事概要



実施日	対象工事	施工者	参加者数 (名)	備考
第1回 R7.6.24 (火)	① 利賀ダム本体建設(第1期)工事 【地盤変動域】【大洞谷建設発生土受入地】【赤松谷】【下島骨材置場】	清水・鴻池 特定建設工事共同事業体	47	
第2回 R7.7.22 (火)	② 押場地区貯水池法面对策(第1期)工事 【仮栈橋】	大成・東急・岩田地崎 特定建設工事共同事業体	46	
	③ 令和6年度北豆谷地区進入路その3工事	(株)岡部		
第3回 R7.8.27 (水) 【雨天中止】	④ 令和5年度押場進入路その7工事	松本建設(株)	-	
	⑤ 令和6年度押場進入路その6工事	中越興業(株)		
	⑪ 令和6年度喜三郎建設発生土受入地整備工事	砺波工業(株)		
第4回 R7.9.26 (金)	⑨ 利賀トンネル(1工区)工事	清水建設(株)	34	
第5回 R7.10.29 (水)	① 利賀ダム本体建設(第1期)工事 【地盤変動域】【赤松谷】 【下島骨材置場】	清水・鴻池 特定建設工事共同事業体	46	砺波労働基準監督署合同

安全パトロールの様子

【赤松谷】



【下島骨材置場】



【地盤変動域】



第5回安全パトロール (R7.10.29) ① 利賀ダム本体建設(第1期)工事



継続

利賀ダム本体建設（第1期）工事

【工期】令和6年3月5日～令和10年2月28日

清水・鴻池特定建設工事共同企業体



現場代理人
鹿田 朋義

工事概要

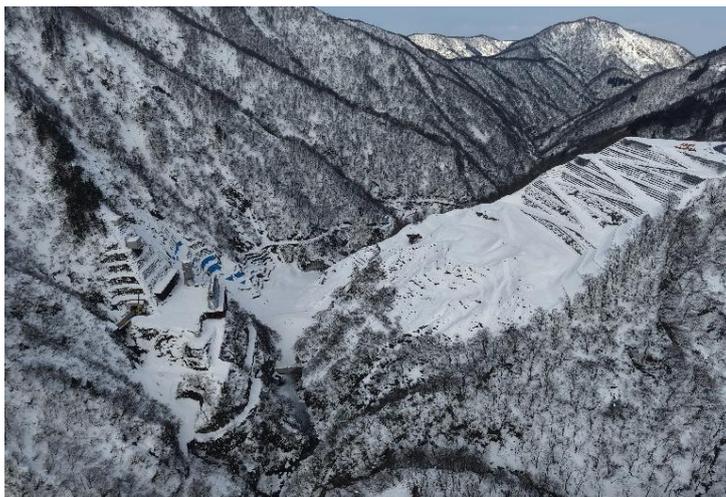
本工事は、一級河川庄川の右支川である利賀川において、洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水の供給を目的とした重力式コンクリートダムを築造する工事です。

令和6年5月に起工測量に着手し、令和8年度からの堤体打設開始に向けて、堤体基礎掘削、右岸地盤変動域排土工、ダム施工設備工事を昼夜体制で進めてきました。冬期期間は設備工事のみ実施し、その他の工事は雪解け後に再開する予定です。

ダム諸元	堤体積／約50万m ³ 堤高／112m 堤頂長／255m
施工数量	ダム土工／約20万m ³ 右岸地盤変動域対策工／約100万m ³
工法	RCD工法

現場の状況

ダムサイトの現地状況（2月中旬）



骨材製造設備（下島）の現地状況（2月中旬）



安全対策

現在は冬期休止中ですが、今年も引き続き右岸地盤変動域の掘削に伴う残土搬出を、一般国道を走行して昼夜で実施します。昨年同様、出入口に交通誘導員、車両感知センサー、タイヤ洗浄設備、車両はかり、看板を設置し、安全対策を徹底してまいります。

また、散水車による道路散水やスノーパによる道路清掃も行い、地元の皆様へのご迷惑を最小限に抑えるよう努めてまいりますので、今後ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



地域貢献

「新そば祭りinTOGA」や「利賀天空ロゲイニング」、「利賀地域職域対抗ソフトボール大会」などの地域行事に積極的に参加し、利賀地域の方々との親睦を深め、地域の活性化に貢献したいと考えております。また、建設中のダム現場を多くの方々にご覧いただくため、現場見学会にも協力させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。



押場地区貯水池法面对策（第1期）工事

【工期】令和6年3月7日～令和10年2月29日

大成・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体

工事概要



監理技術者
新井 博之

本工事は、一級河川庄川水系利賀川に建設される利賀ダム(多目的ダム)の貯水池部における法面对策工事(押場地区)です。

地下水位を下げる横ボーリング工、排水トンネル工、滑動力を低減させる排土工・抑止杭工・アンカー工により湛水後における貯水池法面の安全性を向上させる工事です。

令和8年度は、7年度に引き続き仮栈橋工を下流に延伸しながら、いよいよ抑止杭工、排土工、排水トンネル工、アンカー工等の法面对策を本格化していきます。

排 土 工	26万㎡
抑 止 杭 工	杭工/4本 L=29~66m 頭部造成工/切土・アンカー
ア ン カ ー 工	アンカー93本
排水トンネル工	トンネル延長/350m
横ボーリング工	削孔長/L=41~91m
仮 設 栈 橋 工	7,300㎡

現場の状況

対策工全体図（3Dモデル図）



12月初旬の工事進捗状況



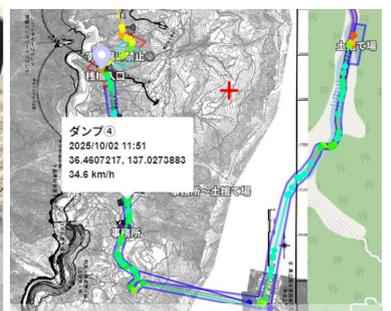
安全対策

昨年9月から排土工掘削を開始し、残土を場外へダンプ運搬しています。積込用バックホウにペイロード（荷重測定装置）を搭載し、積込重量を自動計測管理して過積載防止を行い、また各ダンプには運行管理システムを搭載し、各ダンプの位置や運行速度を監視して安全運行に努めています。

今後も、地域の皆様方にご迷惑をお掛けしないよう注意して工事を進めて参りますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



積込重量と累計積込重量を表示



ダンプ走行位置・軌跡をリアルタイム表示

地域貢献

利賀村の中心地に豊かな環境の中でのびのびと仕事を行い、活発な交流が生まれる拠点として「ウェルネス事務所」を昨年12月にオープンし、開所日には近隣住民の皆様を招待して内覧会を開きました。宿舎として活用している天竺温泉の郷とともに地域とのコミュニケーションの場として活用していきます。

またビーチボールバレー大会、上村そば会にも参加し、地域の方々との交流を通じて利賀地区の活性化に貢献できればと考えております。



押場ウェルネス事務所



事務所内覧会を開催



上村そば会に参加

利賀トンネル（1工区）工事

【工期】令和5年3月8日～令和8年2月27日

【変更】令和5年3月8日～令和8年3月27日



清水建設株式会社



現場代理人
福嶋 幸治

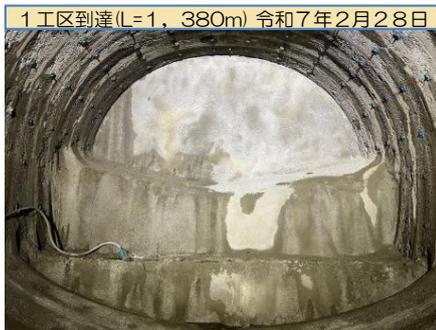
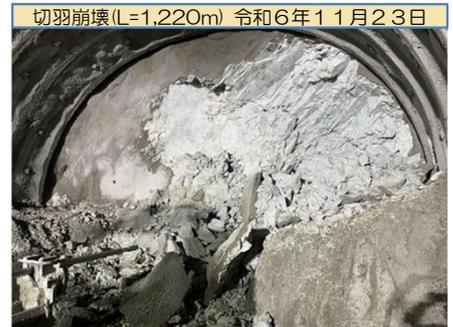
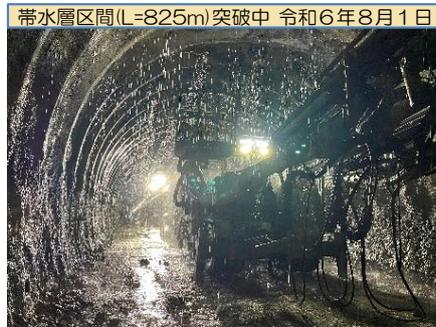
工事概要

本工事は、利賀ダム工事の工事用道路トンネルとして施工している利賀トンネル（全長4,963m、3分割発注）のうち、起点側（L=1,368m）を施工する工事です。

令和5年8月末トンネル掘削開始、令和7年2月末にトンネル掘削は施工分界点に到達し、令和8年2月3日に2工区側からの貫通作業に立ち会いました。令和8年3月末で全ての工事が完了しました。

トンネル延長	利賀トンネル ／1,368m(全長4,963m)
掘削断面積	57.7㎡ (支保パターNCⅡ-b断面 設計)
工法	NATM工法（機械/発破掘削）

現場の状況



工事の工夫点

本工事では、坑口に近接する長崎地区への影響を最小限に抑えるため、地域住民の生活環境に配慮した様々な工夫を凝らしました。具体的には、昼夜間の発破掘削作業に際しては、工事ヤード全周に高さ1.2mの防音壁を設置し、トンネル坑口には防音扉を2枚設置するとともに、各種の低騒音機械・設備を採用しました。さらに、工事用道路には防振マットを敷設、夜間作業での眩光防止対策としてルーバー付き照明を導入しました。

また、水抜ボーリングからの大量湧水により地域水道の水源が枯渇するという緊急事態が発生しました。これに対し、緊急給水対応、仮送水工の24時間365日体制での運用・管理、さらには恒久的な水源対策を実施し、地域住民の生活を支えるべく尽力しました。トンネル掘削においては帯水層区間や不良地山に遭遇しましたが、有識者のご意見もいただきながらこれらの難題を乗り越え、トンネルの長期耐久性を確保しつつ、無事に掘削を完了させることができました。最終構造物である覆工コンクリートでは、密実なコンクリートを施工するため、ワーカビリティの向上に取り組み、高品質なコンクリートを打設しました。

工事完成の挨拶

令和5年3月より約3年を要しました利賀トンネル（1工区）工事が、令和8年3月に無事完成いたしました。

工事期間中は、昼夜間のトンネル掘削・発破作業、残土搬出のダンプトラックや生コン車等の大型車両の往来など、地域住民の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました。そのような状況にもかかわらず、皆様には深いご理解と温かいご支援を賜り、また、工事関係者一同を温かく見守っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

皆様のご協力なくしては、この工事の完遂は不可能でした。誠にありがとうございました。

利賀トンネル（2工区）工事

【工期】 令和4年3月12日～令和8年3月13日

【変更】 令和4年3月12日～令和8年9月30日



大成建設株式会社



監理技術者
下野 正人

工事概要

本工事は、利賀ダム工事の工事用道路トンネルとして施工している利賀トンネル（全長4,963m、3分割発注）のうち、中間部（L=2,394m）を施工する工事です。

令和8年2月3日に1工区側と貫通いたしました。引き続き、覆工コンクリートを施工しています。

トンネル延長	利賀トンネル ／2,394.7m(全長4,963m)
掘削断面積	55.8㎡ (支保パターンC I 断面 設計)
工 法	NATM工法(機械/発破掘削)
そ の 他	

現場平面図



トンネル貫通状況



トンネル覆工施工状況

安全対策

今年度は全国各地でクマによる被害が多発しました。当現場付近においても、クマの出没情報が頻発しており、本工事に従事する作業員に対してクマ除けスプレーの実施講習を行いました。

また、坑外の資材置き場にクマ除けスプレーを常備し、作業開始前に携帯した後に作業を行うことにしました。



地域貢献

令和8年1月10日に開催された利賀のはつうま行事に参加しました。当日は、本工事の事務所にも立ち寄っていただき、事務所の大黒柱に祝詞を唱えていただきました。

今後も地元の行事に積極的に参加したいと考えておりますのでよろしくお願ひします。



工事名:令和6・7年度岩渕地区橋梁上部工製作架設工事

継続

【工期】令和6年12月18日～令和8年1月20日

【変更】令和6年12月18日～令和8年10月30日



川田工業株式会社



現場代理人
金田 和樹

工事概要

本工事は、南砺市利賀村岩渕地先に架かる、橋梁上部工の製作及び架設工事でトラッククレーンバンド架設工法で架設する「単純合成鉄桁橋」です。

今年度は工場製作を行い鋼桁を完成させ、次年度に架設を行い完工予定となります。

現在は部材に塗装をしている最中であり、春先の出荷に向けて準備を行っている段階です。

橋層	幅間	長員	61.000m
支		長	6.20m
鋼		重	59.8m
橋		式	154.9t
架	梁径	式	単純合成鉄桁橋
設	工法	法	トラッククレーンバンド架設

現場の状況

工場塗装の流れについてご紹介



① ブラスト



② 無機ジンクリッチペイント



③ ミストコート



④ 下塗り



⑤ 中塗り



⑥ 上塗り



⑦ 完成

塗装仕様

C-5塗装系
(塗装色: 7.5YR6/1【マンセル値】)

安全対策



桁高が高いため、足場を設け不安定な作業にならないよう注意しながら施工を行いました。

また、作業性も上がるため塗装の質向上にも寄与するものと思います。

地域貢献

10月の利賀のそば祭りにスタッフを派遣しお手伝いさせていただきました。

私もプライベートで参加させていただき、地元が非常に活気づいている様子を肌で感じました。

今年の春先からようやく現場がスタートします。地域の皆様には色々ご不便、ご迷惑をおかけすることになるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度利賀ダム工事用道路他維持修繕工事

完成

【工期】 令和7年4月1日～令和8年3月31日



全ては幸せになる為、豊かな地域づくりに貢献する。

野原建設株式会社

工事概要



現場代理人
小林 健治

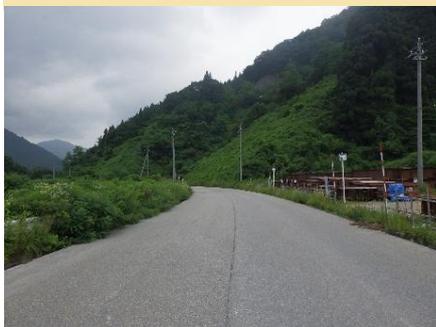
本工事は、利賀ダム工事事務所管内一円を施工範囲として、道路の補修や落石・倒木の処理、除草、除雪、満水位表示板、進入防止ゲート、盗難防止カメラの設置・撤去、資材置場の整備等を行い、他工区が円滑に進められるよう、各所で維持・修繕作業を行っています。

道 路 維 持

舗装工、標識工、進入防止工、
除草工、除雪工、雑工

現場の完成状況

施工前 除草工 工事用道路



施工後 除草工 工事用道路



施工前 除雪工 工事用道路



施工後 除雪工 工事用道路



工事の工夫点

施工範囲が利賀ダム工事事務所管内一円を対象としており、小規模作業が広く点在していましたので、作業する前の日などに以前の工事の施工写真などを参考に現地状況、危険箇所をイメージし、作業当日の朝も現地の状況を作業者全員で再度確認し、注意点を共有してから作業を実施しました。また、除雪作業においては、作業前のミーティングが夜明け前の暗い中、ロータリー除雪車保管庫の雪の降る駐車場でいうため、指示や説明が十分に伝わらない事があるので、これも前の日の夕方に、事務所で事前ミーティングを行う事で、より安全な作業が行えるよう留意しました。



危険予知活動

工事完成の挨拶

令和7年4月より工事を開始して、利賀ダム工事事務所管内各所で作業を行いました。各所で作業を行う際には、地域住民の皆様にご迷惑をおかけいたしました。難しい現場もありましたが、地域の皆様や工事関係者の方々のご協力により、無事に工事を完成することができました。

また、地域主催のイベント等にも積極的に参加させていただきましたが、住民の皆様が大変暖かく迎えてくださり、とても楽しいひと時を過ごす事ができました。ありがとうございました。

令和7年度長崎地区周辺工事

完成

【工期】令和7年4月1日～令和8年1月20日

 **安達建設株式会社**

工事概要



現場代理人
北山 慎也

本工事は、富山県南砺市利賀村長崎地区において、利賀トンネル(1工区)工事で使用した作業ヤードを盛土整備する工事と、富山県南砺市栃原地区において市道栃原線の舗装を打ち換える工事です。令和7年5月上旬に工事に着手し、7月末までに作業ヤードの盛土作業を完了しました。市道栃原線の舗装打ち換え工事は、9月初旬から通行止めでの作業を開始し、10月初旬をもって、工事を完成することができました。

道路土工	掘削工(ICT)/2600㎡ 路体盛土工/70㎡ 路床盛土工/9㎡
擁壁工	補強盛土工/310㎡
舗装工	まき出し・敷均し・締固め /1600㎡ アスファルト/1660㎡
構造物撤去工	構造物取壊し/1式

現場の状況

施工前



作業ヤード盛土整備



市道栃原線舗装の
打ち換え

完成



作業ヤード盛土整備



市道栃原線舗装の
打ち換え

安全対策

作業ヤードの盛土整備作業は6月から7月末の期間で行いました。特に7月が30℃を超える日が多く、施工箇所の日陰が少ないため熱中症発病のリスクが多いにありました。そこで腕時計型の深部体温測定器を各作業員に装着して頂き、本人でも自覚しにくい深部体温の上昇を色・音・振動によって知らせることで休憩・水分補給等の早急対応ができ、施工期間中に熱中症発病者を出すことなく安全に施工ができました。



工事完成の挨拶

この度、令和7年4月利賀長崎地先において施工を進めてまいりました『令和7年度長崎地区周辺工事』が近隣の方々の多大なるご協力もあり、令和7年10月をもって工事を無事完成させることができました。地域の皆様には、工事に対するご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。今後とも利賀ダム建設事業への引き続きご理解ご協力をお願い致します。

工事名 令和6年度喜三郎建設発生土受入地整備工事

完成

【工期】令和6年3月26日～令和8年1月20日

砺波工業株式会社



現場代理人
中井 空

工事概要

本工事は、南砺市利賀村百瀬川（喜三郎）地内において、利賀ダム事業で発生する土砂の受入地を整備する工事です。

6月より、岩瀬地内において土質改良、百瀬川地内で路体盛土、排水構造物の施工を行いました。11月に施工が完了いたしました。

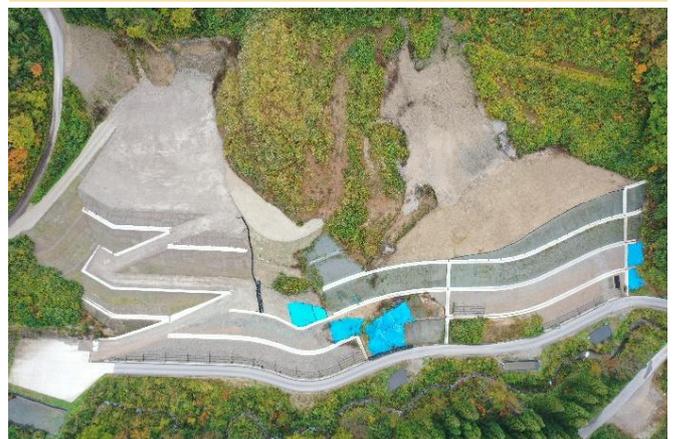
道路土工	路体盛土 (ICT) 17,600㎡
法面整形工	法面整形工 (ICT) 2,560㎡
地盤改良工	土質改良19,500㎡
排水工	小段排水212m
防草コンクリート	張りコンクリート194㎡ 水平排水材326m
排水構造物工	集水樹 3箇所

現場の完成状況

施工前



施工後



工事の工夫点

本工事は、土質改良を行った土砂を10tダンプトラックにより百瀬川（喜三郎）地内に運搬、路体盛土の施工が主な工事でした。

安全対策として、ペイロード機能付きバックホウを使用し、ダンプトラック1台毎の積込重量の確認を行い土砂運搬を行いました。ダンプトラックには、車両動態管理システムを搭載しました。このシステムはリアルタイムで位置、速度、進行方向を把握することができ、設定した速度を超過した場合には、自動音声で減速を指示しました。

また、アラート機能により道路幅員減少箇所、学校、バス停付近では自動音声警告を運転手に行いました。路体盛土の施工は、3Dマシンコントロールを搭載したバックホウとブルドーザーでの施工を行い、丁張等の設置が不要となり効率的に施工を行うことができました。

DT内にスマートフォン搭載
(位置情報確認、注意喚起の実施)



工事完成の挨拶

喜三郎工区に土砂運搬作業のため多くのダンプトラックが利賀村内を走行していましたが、無事施工を完了することができました。地域の皆様、工事関係者の方々にはご理解とご協力いただいたことに感謝申し上げます。

令和6年度押場進入路その6工事

【工期】令和6年3月7日～令和8年1月16日

中越興業株式会社



監理技術者
平田 正治

工事概要

本工事は、押場地区の貯水池斜面对策工事のため、工事用道路を整備する工事です。市道押場線の入口部分では、約7mの道路幅員を確保するため、ジオテキスタイル補強土壁工を施工しました。

ジオテキスタイル補強土壁工の終点部から押場地区へ向かって、道路幅員が最大10mとなるよう仮橋・仮栈橋工を施工しました。

また、国道471号側の法面の安定を図るため、鉄筋挿入工を施工しました。

法面工	鉄筋挿入工 / 82組
擁壁工	ジオテキスタイル補強土壁工 / 1,443㎡
仮橋・仮栈橋架設工	仮橋・仮栈橋工 / 91m
押場線工事用道路(終点部)	掘削工 / 160m

現場の完成状況

仮橋・仮栈橋工 施工前



仮橋・仮栈橋工 完成



ジオテキスタイル補強土壁工 施工前



ジオテキスタイル補強土壁工 完成



工事の工夫点

利賀ダム工事業は、急峻で狭隘な地形での工事が多い状況であります。本工事においても、山側には架空線があり、谷側は平坦な場所がなく緩傾斜地形での工事となりました。

架空線については、利賀村地域に電力を供給する重要なものであり、接触・切断事故防止として、工事箇所全線(約110m)にわたり防護管を取り付けました。

仮橋・仮栈橋工施工時には、橋脚施工時のダウンザホールハンマ工法の工法変更を提案し、現況地盤地形(現場条件)に合った工法により、作業環境の改善を図るとともに、工期短縮を達成しました。



工事完成の挨拶

令和6年3月から工事が始まり、令和7年10月30日に工事を完成させることができました。

工事は2ヶ年にわたりましたが、地域住民の皆様や発注者、他工事の受注者など多くの関係者の方々にご協力していただき、無事故・無災害で工事を終えることができました。

本工事のみではなく、利賀ダム事業に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

令和6年度利賀ダム付替市道整備他工事

完成

【工期】 令和6年3月2日～令和8年1月20日

【変更】 令和6年3月2日～令和8年2月20日



現場代理人
安田 皓宏

工事概要

本工事は南砺市利賀村岩渕地先において、利賀ダム完成後の湛水時に水没する市道仙野原細島線の付替整備を行う工事です。

令和6年度はA1橋台周辺の法覆護岸工、市道舗装復旧、小谷橋A2踏掛版、付替市道未施工区間の切土及び盛土の施工を行いました。

令和7年度は利賀川の左右岸に仮設ヤードを構築し、仮栈橋を架設しました。その後にA2橋台及びA2橋台正面の法覆護岸工を施工しました。

道路土工	掘削工/4,050㎡ 路体盛土工/1,220㎡ 路床盛土工/330㎡
橋台工	場所打ち杭工/4本 橋台躯体工/1.0式
法覆護岸工	コンクリートブロック工/1.0式
踏掛版工	踏掛版工/8㎡
舗装工	アスファルト舗装工/69㎡
排水構造物工	排水工/89m 集水樹工/4箇所
仮設工	土留・仮締切工/1.0式 仮橋・仮栈橋工/1.0式 工用道路工/1.0式

現場の完成状況

施工前



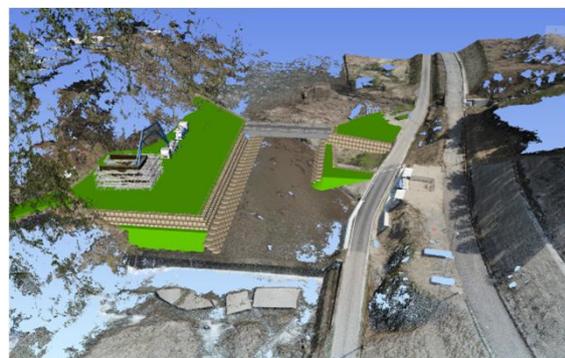
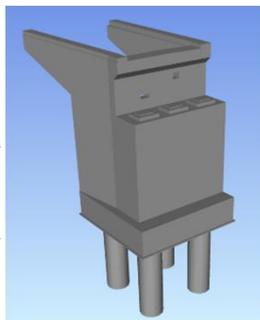
施工後



工事の工夫点

本工事では、3次元モデルを活用し、施工前や施工途中において、作業員と3次元モデルを確認することで、施工ステップの確認や図面のみではイメージしにくい工事の完成形を容易にイメージすることができ、作業内容の理解促進ができました。

また、発注者との打ち合わせ時にも使用することで、図面や言葉のみでは伝わりにくい部分の説明にも役立ち、打合せ時間の短縮につながりました。



【3次元モデル】

工事完成の挨拶

工事期間中において、市道仙野原細島線及び市道岩渕北島線の終日通行止めの交通規制や多くの工事車両の運行等、地域住民の皆様方にはご不便・ご迷惑をおかけしました。狭小部での施工や融雪期における河川内作業等、厳しい施工条件下での施工ではありましたが、無事に施工を完了できましたのも地域住民ならびに工事関係者の方々のおかげだと思っております。本工事に対し、ご理解・ご協力いただきましたことを、心より感謝いたします。

令和5年度押場進入路その7工事

【工期】 令和6年7月1日～令和7年 1月20日

【変更】 令和6年7月1日～令和7年11月28日



松本建設株式会社

工事概要



監理技術者
音羽 信孝

本工事は、南砺市利賀村北豆谷地先において、林道下山線の進入路を拡幅造成する工事で令和6年度からの継続工事となります。

前年度は、約50m/150mが完了し、今年度は残りの100mを行いました。現場は、起点側部は硬質地盤クリア工法と圧入同時充填工法(ジオテツ工法)を併用し、他工事用車両が供用している中で調整を図りながら、鋼矢板の圧入、圧入機械の入替え、鋼矢板天端・段差の加工、鋼矢板の場内運搬、路体盛土を順番に繰返しながら施工を進め、原状復旧を含めて、11月に完成となりました。

道路土工	路体盛土／810m ³
	土砂等運搬・積込／900m ³
土留工	鋼矢板(Ⅲ型、L=11.0m)／7枚(充填有)
	鋼矢板(Ⅳ型、L=11.5m)／11枚(充填有)
	鋼矢板(Ⅳ型、L=12.0m)／6枚(充填有)
	鋼矢板(Ⅳ型、L=12.0m)／15枚
	鋼矢板(Ⅳ型、L=12.5m)／33枚(充填有)
	鋼矢板(Ⅳ型、L=13.0m)／29枚(充填有)
	鋼矢板(Ⅵ型、L=12.0m)／53枚
	鋼矢板(Ⅵ型、L=12.5m)／7枚
	鋼矢板(Ⅵ型、L=13.5m)／39枚
	鋼矢板(Ⅵ型、L=14.0m)／25枚(充填有)
	鋼矢板(Ⅵ型、L=14.0m)／60枚
	鋼矢板(Ⅵ型、L=14.5m)／19枚(充填有)
	鋼矢板(Ⅵ型、L=15.0m)／23枚(充填有)
構造物撤去工	押え盛土撤去・運搬処理／1式
仮設工	作業ヤード整備・土留撤去・除雪／1式

現場の完成状況

施工前



施工後



工事の工夫点

起点側の既設鋼矢板は、Ⅳ型 L=12.0mの鋼矢板であり、既設の鋼矢板(Ⅳ型)に0.5mを継足し、L=12.5mを圧入、同時充填を行う予定でした。鋼矢板の継足は工場での加工が必要不可欠であり、引抜きから圧入まで約2週間以上の時間を要し、その期間に林道下山線の通行に影響を及ぼす可能性がありました。

そのため、鋼矢板の圧入用機械と別の引抜き用機械(サイレントパイラー)を前方に設置し、設計長さの鋼矢板(中古品)を購入して、鋼矢板の引抜きと圧入を交互に繰返しながら施工を行うことで、引抜きと圧入までの時間を最小限に抑え、林道下山線への影響を無くしました。



工事完成の挨拶

令和6年度は、7月から現場事務所を設置し、8月、9月に鋼矢板の運搬と仮設ヤードを設置、10月に鋼矢板の圧入と一部充填を行い約50mが完了しました。

令和7年度は、4月に除雪と準備工を行い、5月～8月まで鋼矢板の圧入、同時充填が完了、9月、10月は、現況復旧、残土処理の施工を行って、11月に片付けを行いました。施工中には、鋼矢板の長尺物のトレーラーによる運搬や、残土処理時のダンプトラックによる土砂運搬によりご不便をお掛けしたこともありますが、地域の皆様方のご理解・ご協力のおかげで無事に無事故・無災害で完成させることができました。約1年半ではありましたが、ありがとうございました。

令和7年度北豆谷貯水池法面对策工事

新規

【工期】 令和7年11月13日～令和8年10月30日

 **株式会社 岡部**



監理技術者
原田 隼輔

工事概要

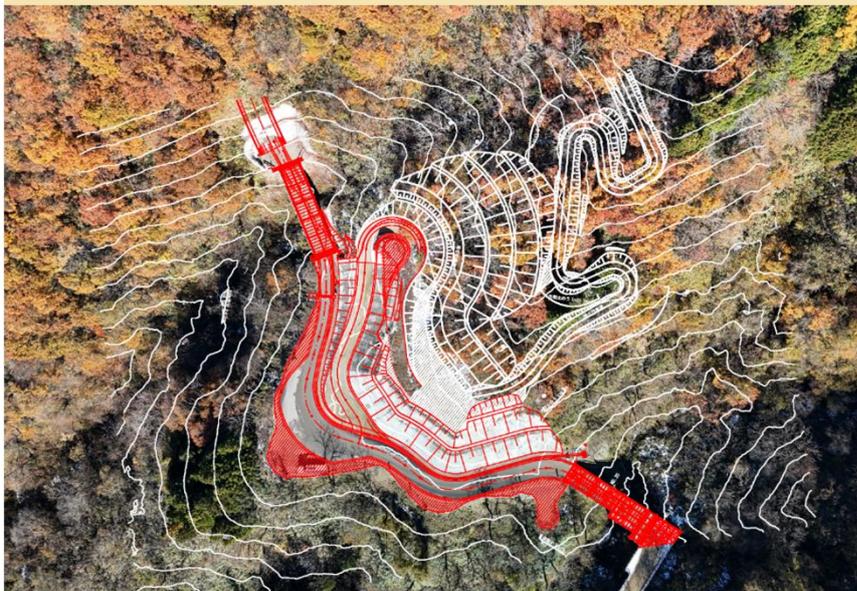
本工事は、南砺市利賀村北豆谷地先において、利賀ダム貯水池斜面对策を目的として工事用道路を造成する工事です。

令和8年4月に工事に着手し、まず工事用道路への落石等による危険を防止するため、必要箇所仮設落石防護柵（延長126m）の設置を行う予定です。その後、令和7年度に造成した工事用道路およびパイロット道路の延長部において、地すべり対策法面の施工に必要な排土作業道を新たに整備します。これらの作業が完了したのち、法面施工を実施する計画です。

道路土工	掘削工（ICT含む）／31,050㎡ 路体盛土工（ICT）／20㎡ 法面整形工（ICT）／5,250㎡ 土砂運搬／一式
仮設工	敷鉄板／19㎡ 掘削工／2,590㎡ 路体盛土工／140㎡ 土砂運搬／一式 土のう／一式 仮設落石防護柵工／一式

現場の状況

着手前



安全対策

工事用道路ではダンプトラックの通行が多く、仮設防護柵工の作業中には作業者との接触リスクが高いため、作業時の安全確保が重要となります。また、パイロット道路はカーブがあり、勾配は12%となっているため大型車両の走行には特に注意が必要です。このため、安全対策として路肩の明示や歩車道境界の設置を行い、車両と歩行者の動線を分離することで交通安全の向上を図ります。

また、熱中症対策としてWBGT測定器の設置等による作業環境の管理、安全教育訓練、災害防止協議会の実施なども計画しています。

地域貢献

北豆谷地区の道路の草刈りや側溝清掃、7月と9月のソフトボール大会にも毎年参加し、本年度もこれまでと同様に地域活動へ積極的に参加したいと考えております。これらの活動を通じて地域の皆さまと交流を深める貴重な機会をいただいております。今後も地域の一員として関わりを大切にしていきたいと感じております。その中で、利賀工事関係者の皆さまとより良い関係を築いていければと存じます。微力ではございますが、地域の一助となれるよう努めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度押場進入路その8工事

【工期】令和7年11月18日～令和8年11月17日

中越興業株式会社



監理技術者
平田 正治

工事概要

本工事は、押場地区の貯水池斜面对策工事のため、工事用道路を整備する工事です。

令和7年度の工事と同様に押場地区へ向かって、道路幅員が最大10mとなるよう仮橋・仮栈橋工を施工します。

本工事では、昨年度に工事が完了している仮栈橋の終端部より約85mの仮栈橋を築造します。

仮橋・仮栈橋工

仮橋・仮栈橋工 / 85m
 ダウンザホールハンマ工 / 81本
 下部工設置 / 62t
 上部上架設 / 105.8t
 覆工板設置 / 824㎡
 仮説高欄設置 / 165.7m

現場の状況

令和7年10月下旬の現地状況(起点側より撮影)



令和7年12月中旬の現地状況(終点側より撮影)



安全対策

安全衛生管理活動として、新規入場者教育や危険予知活動、安全教育訓練、安全週間行事を作業従事者が積極的に行いたいと思います。

安全管理を行うとともに、作業環境の改善を促すための労働衛生管理を行い、安全で安心な職場作りに努めていきたいと思っています。

また、他工事業者の方々との連携を密に取り、利賀ダム工事事業が一体となって、事業の推進に努めていきたいと思っています。

地域貢献

例年同様に恒例行事である道路愛護活動(側溝清掃、道路沿道の除草等)や職場対抗ソフトボール大会等に率先して参加していききたいと思います。

このような行事に参加し、地元関係者の方々により一層親睦を深め、事業や工事に対するご理解やご協力をいただきたいと思います。

工事名 令和7年度利賀地区盛土及び河道付替工事

新規

【工期】令和7年11月18日～令和8年11月17日

会社名  株式会社藤井組

工事概要



現場代理人
西部 哲也

本工事は、利賀ダム供用開始後に湛水が想定される南砺市利賀村地先において、貯水池周辺の安定性確保を目的として実施する斜面对策工事です。利賀川右岸では盛土による斜面对策を行うとともに、併せて河道の付替を行います。さらに、河道付替に伴い岩渕橋の架替えが必要となるため、橋梁の床版を施工します。

施工は、4月上旬に現地踏査および起工測量に着手し、5月上旬から盛土を主体とした土工を開始します。その後、6月上旬より河道付替、9月上旬より岩渕橋の床版施工を行い、11月上旬の完了を目標としています。

利賀地区盛土	路体盛土 (ICT)	V = 55,000m ³
	土砂等運搬	1 式
	土質改良工	V = 12,000m ³
	盛土内排水	1 式
付替河道	掘削	V = 14,400m ³
	コンクリートブロック工	A = 461m ²
	根固めブロック据付	N = 144 個
	舗装工	1 式
	土留・仮締切	1 式
岩渕橋工区	床版工	1 式
	鉄筋	ΣW = 30.15 t
	コンクリート	V = 12,000m ³

現場の状況

工事位置図



安全対策

本工事は、3箇所において施工条件および作業内容が異なることから、各工区に応じた災害リスクが想定されます。利賀地区盛土工区では、大型重機による盛土作業およびダンプトラックによる土砂運搬が主体となるため、重機等との接触災害や車両事故が懸念されます。付替河道工区では河川内での作業となることから、降雨時の急激な水位上昇による出水災害に留意が必要です。また、岩渕橋工区では高所足場上での作業が伴うため、墜落・転落災害等の発生が懸念されます。

以上を踏まえて安全対策の充実を最重要課題として位置付け、各工区の特性に応じた安全管理を徹底するとともに、関係者一丸となって無事故・無災害を目標に工事を進めてまいります。

地域貢献

現場近隣における道路愛護活動や地域行事、各種イベント等がございました際には、積極的に参加させていただき、地域の皆様との信頼関係の構築に努めてまいりたいと考えております。何かございましたら、お声掛けいただけますと幸いです。

利賀ダム緊急水位低下設備・利水放流設備(第1期)工事 利賀ダム発電補償設備放流設備(第1期)工事

新規

【工期】令和7年5月9日～令和11年1月31日

S/ATO 佐藤鉄工株式会社



現場代理人
高橋 尚己

工事概要

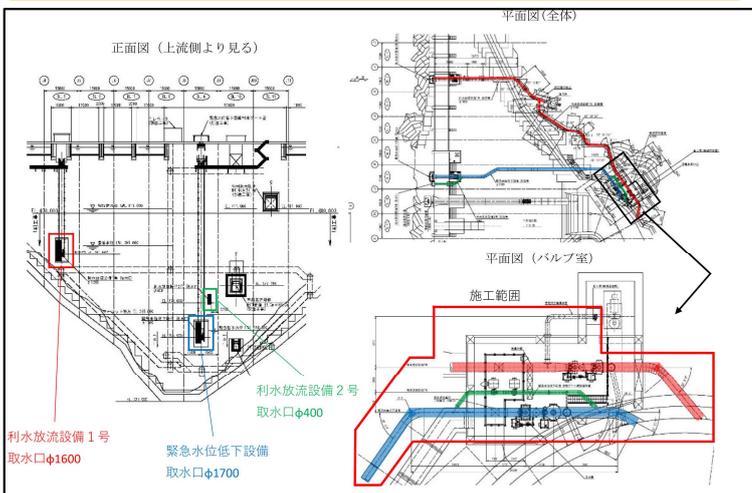
利賀ダム緊急水位低下設備・利水放流設備(第1期)工事は、利賀ダム工事事務所が建設する庄川水系利賀川の利賀ダム事業のうち緊急水位低下設備(主・副ゲート、放流管、スクリーン等)、利水放流設備1号(主・副ゲート、放流管、スクリーン等)および利水放流設備2号(主・副ゲート、放流管、制水バルブ、スクリーン等)を施工する工事です。

利賀ダム発電補償設備放流設備(第1期)工事は、利賀ダム事業のうち発電設備補償のため放流設備(主ゲート、副ゲート、導水管等)を施工する工事です。

両工事とも令和8年度より、弊社工場での設備の製作を開始いたします。同年度より、打設リフトに合わせ随時据付も開始し、令和10年11月に全設備の据付を完了する予定です。

現場の状況

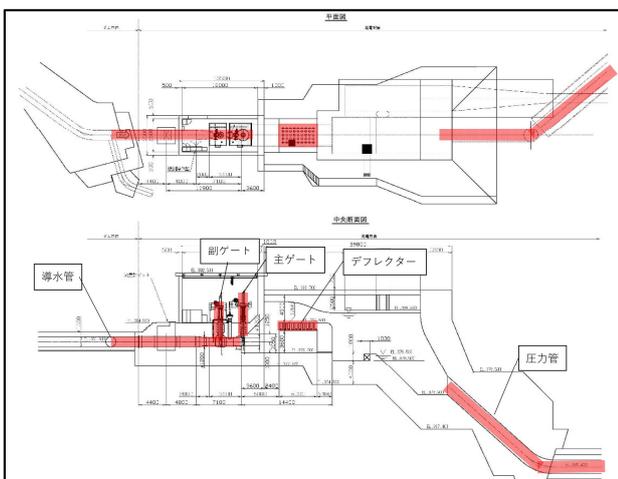
緊急水位低下設備・利水放流設備全体一般図



緊急水位低下設備・利水放流設備概要

緊急水位低下設備	主ゲート/ジェットフローゲート 副ゲート/高圧スライドゲート 制水ゲート/戸当り 放流管/約132.9m 操作制御装置等
利水放流設備1号	主ゲート/ジェットフローゲート 副ゲート/高圧スライドゲート 制水ゲート/戸当り 放流管/約198.5m 操作制御装置等
利水放流設備2号	主ゲート/ジェットフローゲート 副ゲート/高圧スライドゲート 制水バルブ/電動式仕切弁 放流管/約49.2m 操作制御装置等

発電補償放流設備全体一般図



発電補償放流設備概要

発電補償設備	主ゲート/ジェットフローゲート 副ゲート/高圧スライドゲート 導水管/約13.4m 圧力管/約31.2m デフレクター 操作制御装置等
--------	--

安全対策

令和8年度は、工場内熱中症対策強化として屋内外の作業員全員に熱中症対策ウォッチを着用させて、熱中症リスクをアラームで通知する新技術を導入します。

地域貢献

令和7年度は、地域の皆様への工事説明会(右写真)の実施や、「新そば祭りin TOGA」には協賛企業として参加させていただきました。

今後はより各種イベント等に参加させていただき、地域の皆様との信頼関係を築けるよう努めてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。





～ 利賀ダム工事事務所の各課を紹介します ～

国土交通省北陸地方整備局利賀ダム工事事務所は、富山県砺波市に所在し、庄川水系・利賀川に建設中の利賀ダムの建設を中心に、多方面の業務を行っています。

職員は、普段砺波市内の事務所で業務を行っており、職員は5つの課に37名、その他委託業者職員13名で利賀ダム建設工事と関連業務を各機関と連携しながら進めています。

今回は当事務所に5つある課の仕事をそれぞれ紹介します。



利賀ダム工事事務所庁舎

～総務課～

総務課は、施設管理、給与・福利厚生など職員管理、車両管理、文書管理などを行う総務係と契約・支払処理、予算管理、物品・国有財産管理などを行う経理係から構成されています。いずれも所内の各課と綿密に連携をとりながら日々業務を行っております。

一方で、事務所外に顔を出す機会は少ないのですが、広報活動等、皆様とお会いする機会もございますのでその際には何卒よろしくお願いたします。



執務室の様子

～用地課～

用地課では、利賀ダム建設に必要な土地の取得とそれに伴う物件の移転により生じる損失の補償を担当しています。事業内容を丁寧に説明したうえで、補償対象の調査、補償額の算定、地権者の方々との協議・契約、登記や補償金の支払いまで、一連の手続きを行う仕事です。

一つ一つの説明と調整を積み重ね、地域の皆さまに納得していただきながら事業を進めることを大切にしています。

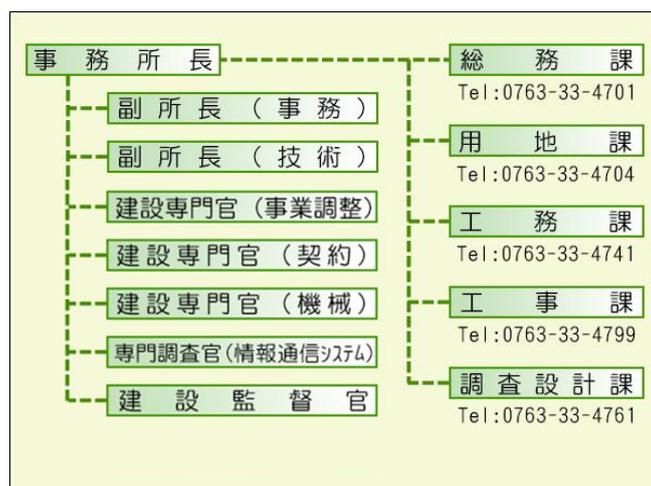
事業に対するご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いたします。

～工務課～

工務課では、利賀ダム建設に関わる工事発注を行っており、令和7年度の実施工事はダム本体工事等14件の工事を実施していました。

工事は設計と地形や地質等の現地条件が異なることがあるため、関係機関との協議、工事受注者との打合せを行い、工期や費用の精査をしています。

事業の本格化が進む中、今後も工事が円滑に進むよう、引き続き取り組んでまいります。



利賀ダム工事事務所組織図

～工事課～

工事課では主に工事監督の業務を行っています。工事監督では設計図書（施工図、特記仕様書、共通仕様書）に基づき、施工状況確認、工程及び工事に使用する材料試験や品質確認等によって良質な工事目的物が完成するように、併せて、安全や品質を確保し、法令（法律や規則）を守りながら進んでいるかを確認します。

～調査設計課～

調査設計課では、ダム事業に関する周辺環境や地質などの調査、ダム本体建設工事や貯水池斜面対策工事などの設計を担当しています。

その他には、地域のイベントや市役所で利賀ダム事業に関する広報活動を行ったり、地域の皆様や南砺市と協力してダムの建設中から完成後の利活用に関する検討をしたりしています。インフラツーリズムの取り組みとして、利賀ダム建設現場などを活用した見学ツアーも関係市と協力して企画中です。



3階から望む立山連峰は筆者のイチオシです。

～ 上村そば会に参加しました! ～

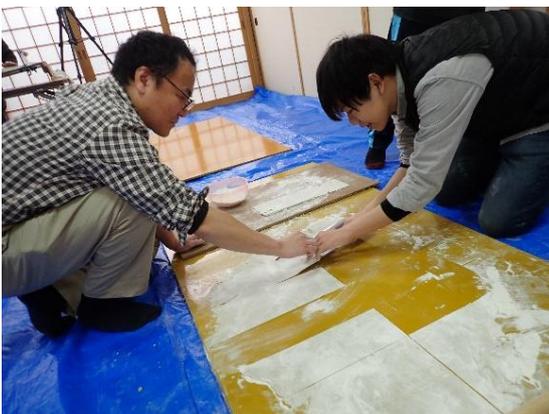
2月7日（土）に催行された上村そば会に当事務所より6名が参加しました。筆者は一昨年度より一年ぶり、2回目の参加となりました。前回同様、そば打ち工程の中でも生地を均一に伸ばす工程において適度な厚さに引き延ばす作業が苦手で、生地に穴を開けてしまいました。

しかしおなかに入れてしまえば同じ！皆で作った100%利賀村産のそばの味は格別で、6杯も平らげてしまいました。

また、机を囲む中で利賀ダム建設事業の進捗に大きな関心を寄せていただいている地域の皆様、それから普段は仕事上での関わりとなる関係業者の皆様とも楽しくお話しさせていただくことができ、最後には当事務所長音頭の元、皆様とダム式万歳をさせていただくことまでできました。

昭和40年代から続く上村地区のそば会ですが、我々利賀出身者じゃなくとも住民の皆様が温かく受け入れてくださり、歴史あるそば会を楽しめる有意義な機会となりました。

最後になりましたが、主催の利賀上村地区の皆様、そば打ちをご指導いただいた皆様並びにお話しさせていただいた皆様、この度は誠にありがとうございました。



のばしたそばを切って重ねる総務課長と筆者



最後は皆でダム式万歳！！

7. あとがき



利賀の水音の発行も今回で46回目となります。

2025年の下半期は全国でクマによる被害が過去最多を記録し、南砺地域でも被害が発生しました。

地域の安全と自然の調和をどう守るか、自然の中で事業を進める我々職員も改めて考える機会となりました。

一方で、春の訪れを告げる風が、雪解けの山々にやさしく吹く季節となりました。冬を乗り越えた花々の息吹は春の兆しとともに新しい希望を感じさせます。冬の間は止まっていた工事も、雪解けとともに再び動き始めます。この新しい希望に向かって、今後も地域の皆様と共に職員、工事・業務受注者一同、安全第一で事業を進めてまいりますので何卒よろしくお願いいたします。



押場地区進入路の仮栈橋はまるで赤い大蛇が森に横たわっているよう

＼X、Threads、Instagram、facebookを始めました！／

- ・利賀ダム公式SNS
 - ・バーチャル現場見学
 - ・バーチャル空中散歩
- はこちら！！



現場見学



空中散歩



▼「利賀の水音」について、お気づきの点等ありましたら、下記までご連絡下さい。

利賀ダム工事事務所 安全対策協議会



■事務局：利賀ダム工事事務所 工事課

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1-5-10

【TEL】0763-33-4799 / 【FAX】0763-33-0271

【E-MAIL】toga@hrr.ml.it.go.jp

■ございしょ利賀（監督員詰所）

〒939-2507 富山県南砺市利賀村171 利賀市民センター内

◆利賀ダム工事事務所ホームページにて工事の進捗状況を発信中です◆

【URL】 <https://www.hrr.ml.it.go.jp/toga>

引き続き地域の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

※本誌に掲載した記事・写真等を許可無く無断で複写・転用することを禁じます。

